




岩手県立病院薬剤部門



岩手県立病院薬剤部門の紹介動画は二次元バーコードまたは
下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立病院薬剤部門紹介動画](#)



病院薬剤師の魅力

『病院薬剤師』は薬剤師として総合的な力を発揮できます！

病院では、調剤だけでなく、病棟薬剤業務、DI業務、抗がん剤調製業務、製剤、治験等多様な業務を経験し、チーム医療に関わることによって**医療人としての誇りとやりがい**を多く感じることができます。

- 患者さんと対面しながら、服薬指導や薬の効果を確認できる
- 病棟業務では医師と連携して、臨床医療に携わることができる
- 医療チームの一員として、医師や看護師等にアドバイスできる
- カルテを見ながら、患者さんと密接に関わることができる 等

岩手県立病院薬剤師の魅力

多様な体験ができます！

高度急性期機能から慢性期機能、緩和医療、在宅医療等の多岐にわたる20病院・6地域診療センターで、**単一の病院とは異なる多様な体験ができ、自分に最も適正のある仕事を発見することが可能です。**

多種多様な経験を積んだ幅広い年齢層の薬剤師が192名在籍（令和6年4月1日現在）しており、普段から交流をして情報共有等を行っています。

研修等はシステム化されています！

勉強したい！

そんな意欲のある薬剤師に対して、バックアップしていきます。

専門的な学会研修のほか、経験年数に応じたシステム化された人材育成研修を受けられます。

特に、専門・認定薬剤師の資格取得及び資格更新に向けた環境を整備しています。

岩手県立病院の配置



一般病院(19)



精神病院(1)



地域診療センター(6)

二次医療圏(9)

盛岡

両磐

宮古

岩手中部

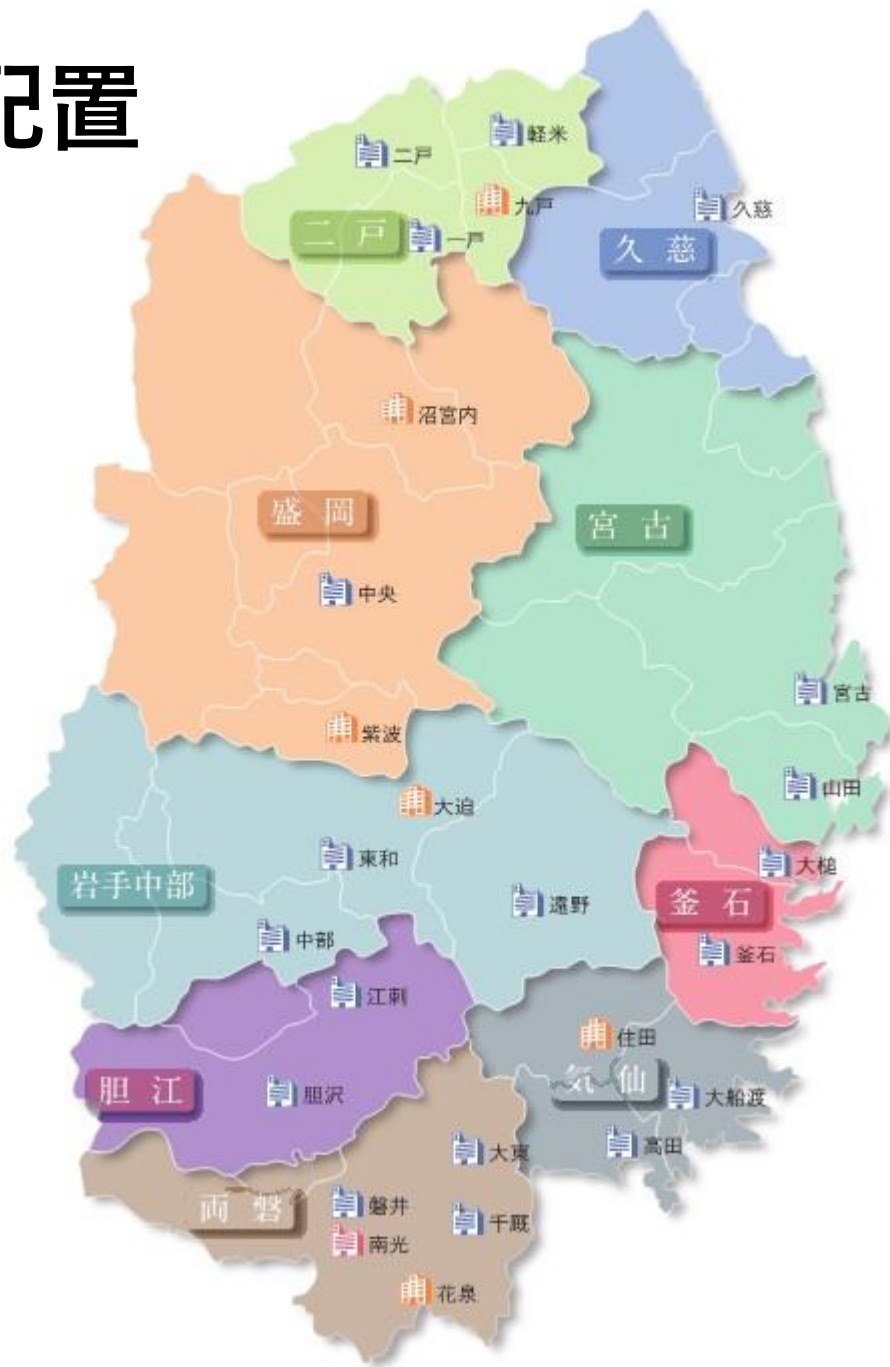
気仙

久慈

胆江

釜石

二戸



➤岩手県立病院は**20病院・6地域診療センター**あります

➤薬剤師数 **192名**（令和6年4月1日現在）

医療圏	基幹病院	地域病院	精神科病院	地域診療センター
盛岡	中央病院（盛岡市）			紫波（紫波町） 沼宮内（岩手町）
岩手中部	中部病院（北上市）	遠野病院（遠野市） 東和病院（花巻市）		大迫（花巻市）
胆江	胆沢病院（奥州市）	江刺病院（奥州市）		
両磐	磐井病院（一関市）	千厩病院（一関市） 大東病院（一関市）	南光病院（一関市）	花泉（一関市）
気仙	大船渡病院（大船渡市）	高田病院（陸前高田市）		住田（住田町）
釜石	釜石病院（釜石市）	大槌病院（大槌）		
宮古	宮古病院（宮古市）	山田病院（山田町）		
久慈	久慈病院（久慈市）			
二戸	二戸病院（二戸市）	一戸病院（一戸町） 軽米病院（軽米町）		九戸（九戸村）

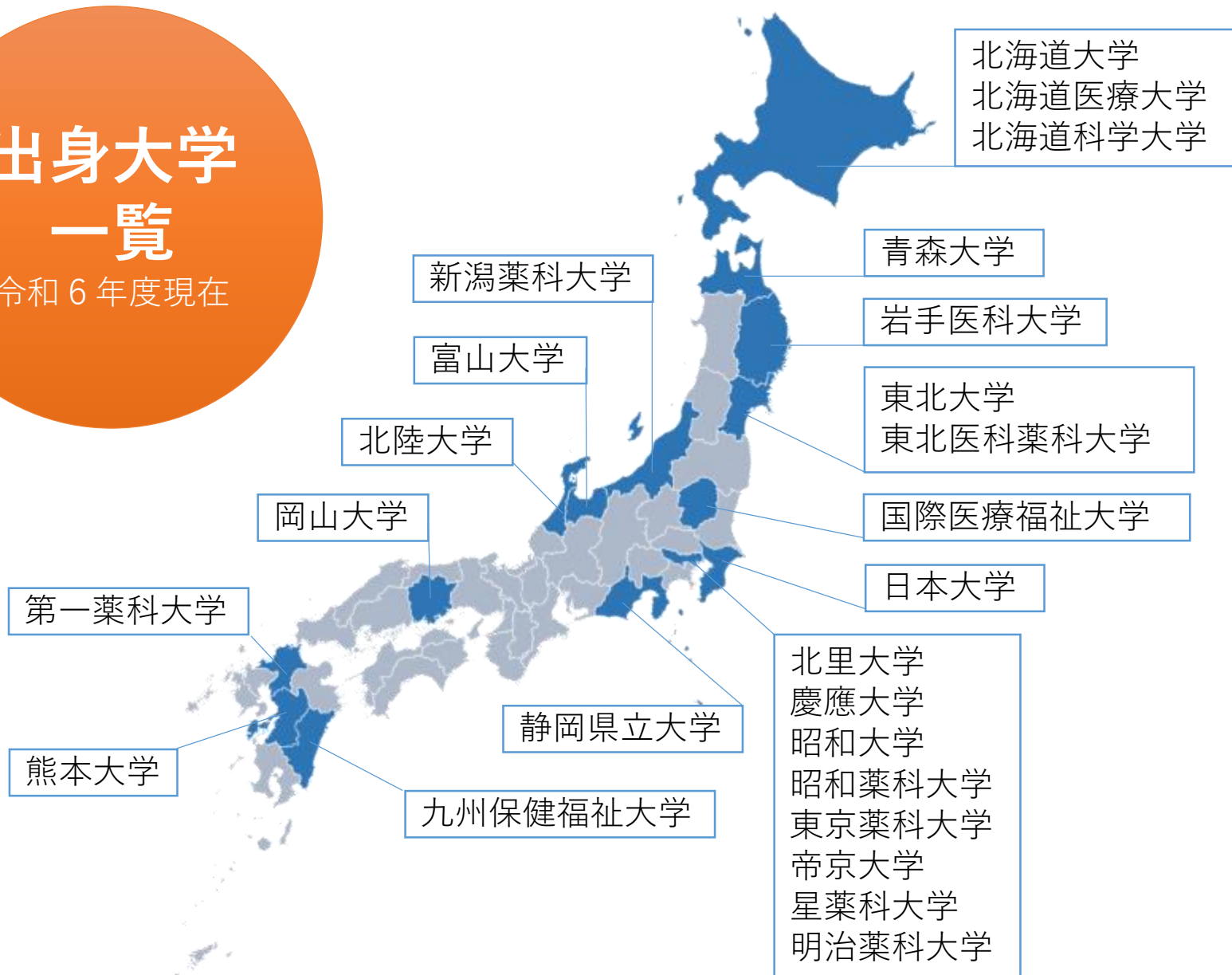
岩手県立病院薬剤師数

病院名		薬剤師数	病院名		薬剤師数	病院名		薬剤師数
盛岡	中央病院	39	両磐	千厩病院	8	宮古	宮古病院	13
	中部病院	23		大東病院	2		山田病院	1
岩手中部	遠野病院	6		南光病院	4	久慈	久慈病院	10
	東和病院	3	気仙	大船渡病院	14	二戸	二戸病院	11
胆江	胆沢病院	16		高田病院	2		一戸病院	5
	江刺病院	4	釜石	釜石病院	9		軽米病院	3
両磐	磐井病院	16		大槌病院	1	本庁	2	

合計 192名 (令和 6 年 4 月 1 日現在)

出身大学 一覽

令和6年度現在



給与

■ 初任給 250,100円

※令和6年4月1日現在 6年制学部新卒者

■ 年1回の昇給や昇格等で給料が増えていきます

■ 期末・勤勉手当を年2回（計4.5月分）支給

※令和6年4月1日現在

■ 諸手当

通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当、宿日直手当等



薬剤師 年間給与支給総額推移（給与カーブ）



※ 現職員をモデルとした生涯年収の試算値であり、勤務実態や成績、生活の状況等により変動します。

福利厚生

■ 年次休暇（有給）

採用の年は15日間取得可能
2年目以降は年間20日間
残日数は最大20日まで翌年へ繰越可能

■ 病気休暇（有給）

3ヶ月以内（生活習慣病等は6ヶ月以内）

■ 特別休暇（有給）

夏季休暇 5日間
結婚休暇 7日以内
産前・産後休暇 産前・産後8週間
忌引休暇 1～10日
ボランティア休暇 年間5日以内

■ 介護休暇

6ヶ月以内（無給）



福利厚生

県立病院には
院内保育所を
設置しています！
(10ヵ所)

■ 子育て支援制度

育児休業

子が3歳になるまで、県職員の身分のまま休職することが可能です

育児短時間勤務制度

子が小学校に就学するまで、短時間での勤務を選択できます

子等の看護休暇

子の病気時に、子1人あたり5日以内の範囲で休暇を取得できます

男性職員の育児参加休暇

配偶者出産休暇（有給）

出生サポート休暇（有給） 等

福利厚生

■ その他

- 世帯用、単身赴任者用、独身者用の**職員公舎**がほとんどの病院に整備されています。

職員公舎の間取りや築年数、空室状況は病院により異なります。

(単身用の公舎料は月4,000～8,000円程度)

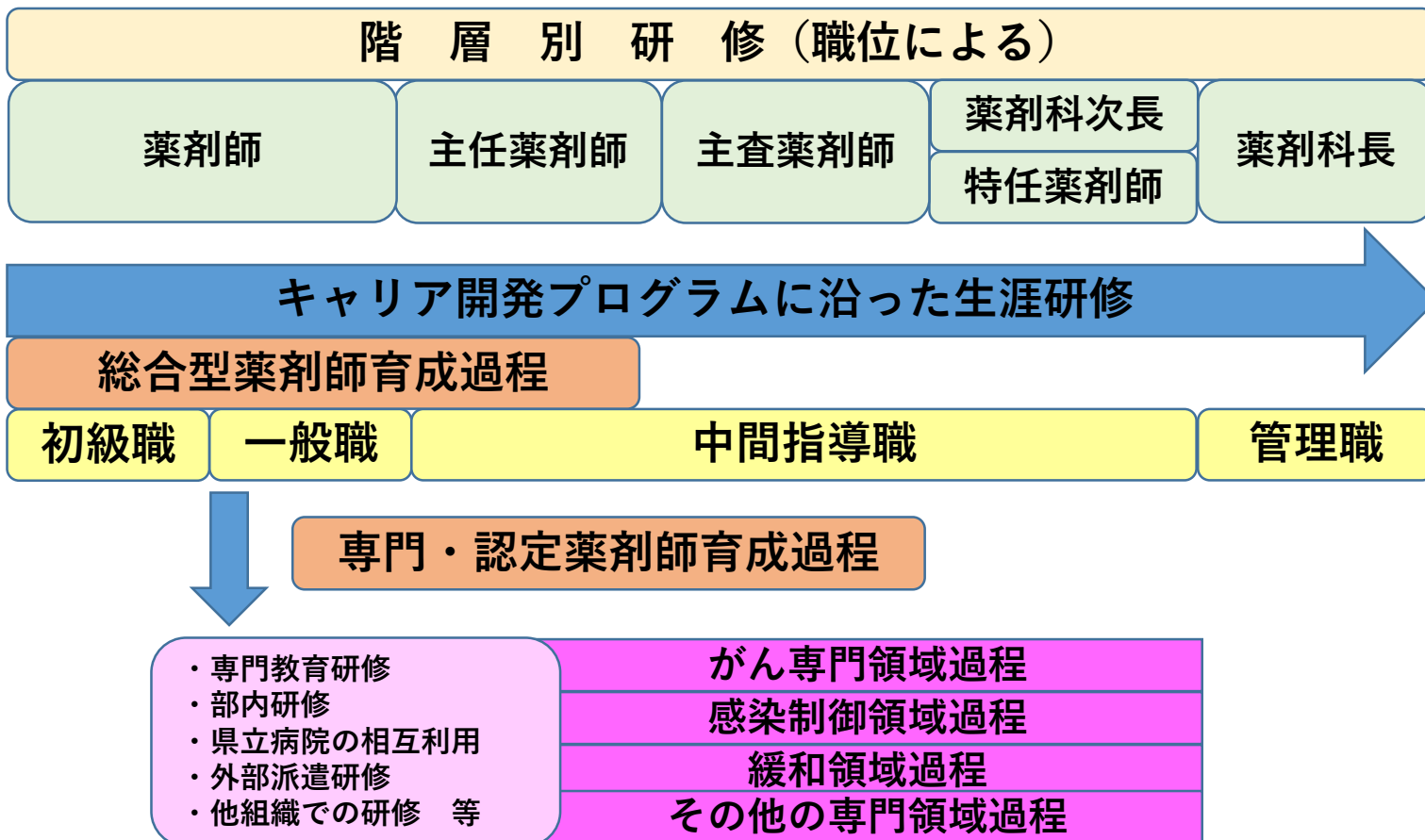
アパート等に入居する際は、住居手当(限度額あり)が支給されます。

- テニス、サッカー、バレー、野球などの体育系サークルと華道などの文化系サークルの他、各病院でいろいろなサークルがあり、共通の趣味を持った人たちが活動しています。



教育体制

薬剤師キャリア開発プログラム



教育・研修

県立病院の職員研修は階層別に行う**基本研修**、本人の希望により受講できる**選択研修**、全国的な学会・研修会への**派遣研修**のほか、各職域団体が主催して行う**専門研修**などがあり、**各種専門課程の資格取得にも力を入れて取り組んでいます。**

➤ 医療局主催研修

「新採用研修」、「初級課程研修」など

➤ 専門研修

県立病院薬剤部門開催の学会研修会

県立病院薬学会 年1回

県立病院薬剤師会自主研修会 年2回

各地区県立病院薬剤師研修会 年2回

➤ 医療局派遣研修

がん、緩和、感染分野等の認定薬剤師研修

多方面の全国規模学会学術集会、研修会等への参加

このほか岩手県薬剤師会、岩手県病院薬剤師会、各地区薬剤師会の研修会が多数実施されています。

教育・研修

■ 岩手県立病院薬剤師会自主研修会（専門研修）

➤ 令和3年度（Web研修）

「医薬品情報の効果的な活用方法について～RMPを中心に～」

岩手医科大学付属病院 薬剤部 医薬品情報管理室 於本 崇 先生

「知って得する総合診療医の臨床推論」

岩手医科大学付属内丸メディカルセンター センター長

救急・災害・総合医学講座 総合診療医学分野 教授 下沖 収 先生

「医療従事者のためのアンガーマネジメント」

岩手県立中央病院 副院長 大浦 裕之 先生

「オリンピック選手村ポリクリニックにおける薬剤業務」

岩手県薬剤師会常任理事 かたくり薬局 本田 昭二 先生

教育・研修

➤ 令和4年度（Web研修）

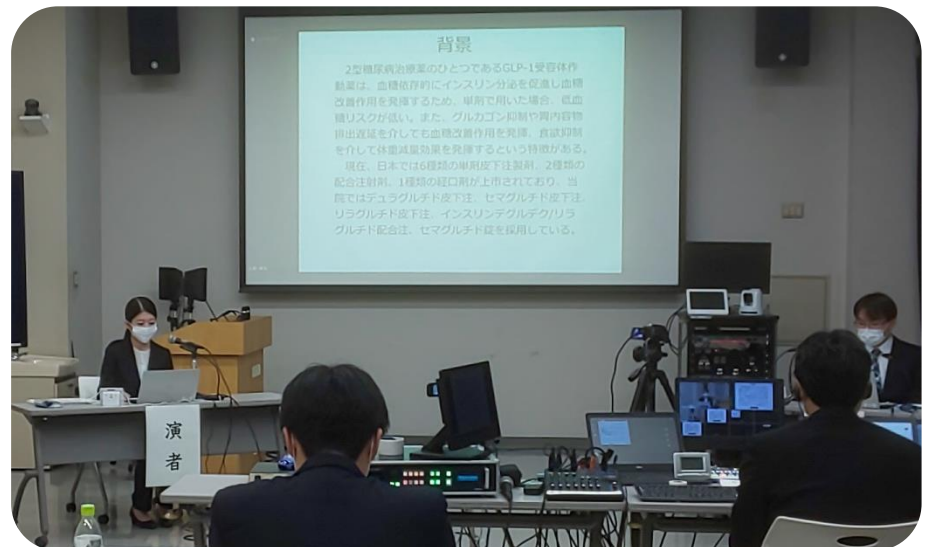
「薬剤師の採用状況と人材確保の取り組みについて」

岩手県医療局 職員課人事研修担当課長 後藤 利徳 先生

■ 岩手県立病院薬学会（専門研修）

➤ 令和4年度（Web研修）

一般演題15題



主な専門・認定薬剤師等の取得状況

がん薬物療法認定薬剤師（日本病院薬剤師会）

がん指導薬剤師（日本医療薬学会）

がん専門薬剤師（日本医療薬学会）

外来がん治療専門・認定薬剤師（日本臨床腫瘍薬学会）

感染制御認定薬剤師（日本病院薬剤師会）

抗菌化学療法認定薬剤師（日本化学療法学会）

緩和薬物療法認定薬剤師（日本緩和医療薬学会）

NST専門療法士（日本臨床栄養代謝学会）

日本糖尿病療養指導士（日本糖尿病療養指導士認定機構）

認定実務実習指導薬剤師（日本薬剤師研修センター）

小児薬物療法認定薬剤師（日本薬剤師研修センター）

過去5年間における学会発表実績

(一部抜粋)

学会名	開催地	演題名
日本緩和医療薬学会	北海道	帯状疱疹後神経痛の緩和に漢方製剤の合方が奏功した一症例
日本病院薬剤師会 東北ブロック学術大会	秋田	院外処方箋の疑義照会にかかるプロトコルの作成・運用による有用性の検証
日本病院薬剤師会 関東ブロック学術大会	栃木	S-1胃癌術後補助化学療法におけるPR値を用いた治療完遂率についての調査
日本静脈経腸栄養学会	東京	当院における簡易懸濁法の現状と今後の課題
日本医療薬学会	愛知	ニボルマブ単独療法におけるirAEの発見に患者の訴えが与える影響
日本環境感染学会	愛知	コミナティ®筋注の副反応と被接種者の年齢に関する後ろ向き研究
日本臨床栄養代謝学会	兵庫	当院におけるNST対象患者とポリファーマシー介入事例の関連性
全国自治体病院学会	奈良	疑義照会簡素化プロトコル一体型トレーシングレポートの解析と開始後の薬薬連携の変化と対応
日本クリニカルパス学会	熊本	クリニカルパスへの薬剤管理指導組み込みと指導率向上の取り組み

岩手県立病院では、**県立病院間における薬剤師及び他職種との交流や専門認定取得に係る育成等が充実**しています。

病院という組織の中で、薬剤師は薬の専門職として医師や看護師等からアドバイスを求められることもあれば、医師とともに処方設計に携わることもあり、薬剤師以外の専門職スタッフとも連携しながらチームとして医療現場の運営に関わっていくので、医療現場の最前線ならではの業務が多くあります。

「**病院薬剤師**」は、

学んできた薬学の知識を**最大限**に活かします！

若手薬剤師の声

中部病院 小野寺 良司
(東北医科薬科大学卒 令和4年度入局)



県立病院職員を志望した理由

地元に戻り、岩手の医療に少しでも貢献できればと思い県立病院を志望しました。また、自身が学生の際の実習で病院薬剤師の先生方の知識と、それを活かして業務を行う姿に対して自分もこんなふうになりたいと思い病院という職場を選びました。

現在の業務内容

現在は、主に化学療法の監査業務を行っています。医師のケモ実施確定の指示があるかどうか、前回コースと投与量の変更がないか、検査値、バイタルを確認し実施に際して問題となる点はないかなど適正に治療が行われるよう努めています。そのほか、病棟薬剤業務、調剤業務、製剤業務など幅広く業務を行っています。

今後の目標・挑戦したいこと

がん化学療法認定薬剤師の認定取得に興味があります。がん分野に限った話ではありませんが、常に知識のアップデートを続ける必要があり非常に難しい分野だなと感じています。しかし、その分やりがいも大きく誰にでもできる分野ではないからこそ価値があると思います。得た知識、経験を患者さんや多職種へ還元していける薬剤師になりたいと考えています。

若手薬剤師の声

磐井病院 柴内 法子
(東北医科薬科大学卒 令和4年度入局)



県立病院職員を志望した理由

他職種と連携しながら入院から退院までの薬物治療に携わりたいと思い、病院薬剤師を目指しました。転勤により急性期や慢性期の各地域に根付いた病院を経験できること、認定薬剤師の資格取得をバックアップしてくれることなどから県立病院を志望しました。

現在の業務内容

調剤業務、病棟業務、抗癌剤調製、院内製剤調製などが主な業務です。他にも看護学校での生化学の講義を担当するなど様々な業務を経験することができています。

病院薬剤師として働くことのやりがい・魅力

カルテで詳しい症状や検査値などを確認したうえで、薬剤指導や医師への処方提案ができることが病院薬剤師の魅力だと思います。患者さんから「安心した」などの言葉をいただいたときが一番やりがいを感じます。

県立病院では1年目の早い時期から病棟業務や抗癌剤調製など多岐にわたる業務を経験できます。プリセプターの先生をはじめ、先輩方から一つずつ丁寧に教えてもらえるため、薬剤師として日々成長を実感しながら働くことができると思います。県立病院で一緒に働ける日を楽しみにしております。

若手薬剤師の声

遠野病院 伊藤 圭太
(岩手医科大学卒 令和3年度入局)



県立病院職員を志望した理由

岩手県についてもっと知りたいと思ったからです。広い岩手県のそれぞれの地域性について学んで、その場所の医療がどうなっているのか、実際に働くことで理解しようと思いました。あとは盛岡が好きだからです。

職場の環境や雰囲気について

いつも明るく笑って過ごせる職場です。日常的に会話する機会が多く、自分のことを伝えることができるのと同時に、他の薬剤師についても理解することができます。そのため業務上の相談や悩みを常に話しやすい環境となっています。遠野病院の薬剤師、調剤助手は面白くて頼りになります。

新採用から現在に至るまでの間で成長できたと感じること

人との接し方について理解を深めることができた実感しています。それぞれの職場で成長できることが異なると思います。私は遠野病院で、医療従事者、患者さんとの交流から対人的な面が成長したと思います。人それぞれの考えや性格などから、相手のことを理解しようとする考えを身につけることができました。

若手薬剤師の声

宮古病院 柳谷 祐甫
(岩手医科大学卒 令和4年度入局)



県立病院職員を志望した理由

私は大学が岩手だったため、地元は異なりますが、就職は岩手県に勤めたいと考えていました。岩手県立病院は、様々な規模・機能を担っている病院があり、病院によって経験できることが違うところが魅力的でした。また、病院職は医師、看護師を始め、多くのコメディカルとの関わりがあることも魅力的で、チーム医療の一員として医療に関わりたいと考え、県立病院職員を志望しました。

新採用から現在に至るまでの間で成長できたと感じること

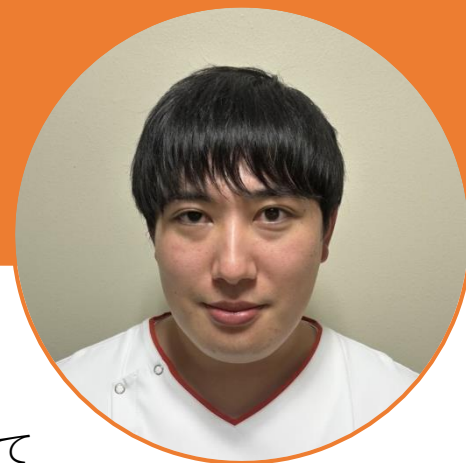
病棟業務を通して、その人個人に合わせた処方提案や、服薬指導を行うことができるようになったことが、私自身成長を感じます。患者さんへの服薬指導を通じて、実際に手技等の確立がなされ、状態改善がみられる様子を見てみると自身のやりがいにも繋がっています。また、処方箋を見て違和感に気づき、おかしいと思えるようになったことも、1年目と比較して増えたように思います。

福利厚生について

今住んでる公舎は職場の敷地内にあり、通勤時間がほとんどかからないことが私にとって非常にありがたく思っています。年数制限はあるものの、料金も数千円で住むことができることが魅力的です。様々な休暇制度があり、それに対応した休暇を取得できるため、ワーク・ライフバランスの整った環境だと思えます。

若手薬剤師の声

久慈病院 矢羽々 俊
(岩手医科大学卒 令和3年度入局)



県立病院職員を志望した理由

病院で地元岩手の医療に貢献したいという思いと、福利厚生が整っているため志望しました。また、いろいろな地域に行ってみたいという気持ちもありました。

新採用年度のプリセプター制度※について

分からないことや気になった事を気軽に聞ける存在として重宝しました。また、色々な場面でアドバイスを貰ったりと、円滑に業務を覚え成長出来る制度だと感じました。

新採用から現在に至るまでの間で成長できたと感じること

薬の知識はもちろんですが、他の医療従事者とのコミュニケーション能力、様々な業務を行う上での視野・視点について、成長していると感じます。

【※プリセプター制度とは？】

先輩薬剤師（プリセプター）が新採用薬剤師（プリセプティ）をマンツーマンで教育・指導・フォローするシステムです。

専門・認定薬剤師 へのインタビュー

外来がん治療専門薬剤師
中央病院 城戸 直人
(岩手医科大学卒 平成25年度入局)



認定資格取得を目指したきっかけ

外来化学療法業務や薬薬連携などの業務に携わる機会が多かったため、自然と認定取得を目指すようになりました。

取得に向けた勉強・取り組み

非常に細かい内容も問われる試験との噂でしたので「がん専門・認定薬剤師のためのがん必須ポイント」「臨床腫瘍薬学」などのテキスト、各種ガイドライン、抗がん薬の添付文書を読み込みました。提出した介入症例についての面接試験もあるため、論理的にプレゼンができるよう、試験官からの質問に対しエビデンスに基づいた回答ができるよう準備しました。

取得後の活動について

がん治療を施行される患者さんへの薬剤指導、乳腺外来での診療補助業務、地域保険薬局との連携業務、化学療法レジメンの整備を行っています。医薬品情報室でのDI業務では、抗がん薬の知識を活かして、抗がん薬の整理統一や後発品・バイオシミラー導入にも力を入れています。

日頃の業務で心がけていること・仕事のやりがい

医療に関する情報は日々アップデートされます。がん領域にとらわれず幅広い分野において、最新の医療・医薬品情報を能動的に取得し、日々の仕事に還元できるように心がけています。医師から相談された治療について、薬学的視点で介入することで、薬物治療が適切かつ安全におこなわれ、患者さんが改善していく姿をみることができると、薬剤師としてやりがいを感じます。

専門・認定薬剤師 へのインタビュー

抗菌化学療法認定薬剤師
中部病院 菊池 琢登
(岩手医科大学卒 平成28年度入局)



認定資格取得を目指したきっかけ

入局後しばらくして、医師からある感染症に対する抗菌薬選択の問い合わせがありました。当時は何一つ答えることができず自身の無力さに悩んでいました。その後、薬剤の知識を臨床に還元できないと意味が無い、何かスペシャリストとして臨床に貢献できないかと考えるようになりました。多様な領域の中で感染症分野は難しいイメージがあり克服したいと思ったこと、感染症はどの診療科でも取り扱うため感染症治療に特化した日本化学療法学会の抗菌化学療法認定薬剤師を目指すこととしました。

取得に向けた勉強・取り組み

学会が指定するテキストを中心に薬がみえる、病気がみえるなどの参考図書や大学時代に使用した青本等を活用し学習しました。また、実症例を通じ医師へ処方提案や助言をすることで認定要件に必要な症例を集めました。

取得後の活動について

院内感染の防止と薬剤耐性菌の院内伝搬防止のためICTによる院内感染ラウンドやサーベイランスを実施しています。耐性菌出現の防止と抗微生物薬の適正使用支援のためASTでは指定抗菌薬を使用している患者のモニタリングを毎日行い週2回カンファレンスを実施しています。その他にバンコマイシンのTDMやAMRアクションプランに沿って医療従事者等への教育も行っています。

日頃の業務で心がけていること・仕事のやりがい

感染症治療は初期治療が重要です。培養結果が得られない症例も多く判断に困惑しますが推定菌を鑑別にあげ臨床症状を元に抗微生物薬を提案することを心がけています。提案した内容が受諾され患者の病態が改善した際は非常にうれしいですし治療の成功体験が増えていくことはやりがいのひとつです。

専門・認定薬剤師 へのインタビュー

NST専門療法士
東和病院 阿部 ゆき奈
(青森大学卒 平成24年度入局)



認定資格取得を目指したきっかけ

もう7年前になりますが、当時の次長から『ちょっと（出張）行ってみない？』と聞かれて『じゃあ、行きます。』と二つ返事で参加した中央病院での実地修練がきっかけでした。このときにNST専門療法士の資格があることを知って、せっかくなら目指してみようという受動的なきっかけだったかと思います。

取得に向けた勉強・取り組み

認定試験に必要な単位を集めるためにセミナーや学会に参加して、ひたすら過去問題集を解いて、静脈経腸栄養テキストブック（現在のJSPENテキストブック）を読み込んだ記憶があります。思い返せば、大学の期末試験勉強並みにやっていました。

取得後の活動について

取得前からNSTラウンドに参加していましたが、資格を取ったという自信と実地修練での経験もあって取得前よりも発言する機会が増えたと感じます。現在では管理栄養士や看護師、理学療法士、臨床検査技師など多職種との協力のおかげもあり、算定件数は中央病院や中部病院に次いで多い件数となっています。委員会の委員としても情報発信に努めてきました。

日頃の業務で心がけていること・仕事のやりがい

患者の年齢層が高いこともあり、併用薬の数や種類も注意しています。医師に薬剤に関する提案もしやすいため、薬剤の中止や変更で改善した事例があったときは、よりやりがいを感じます。日々の業務で精一杯でしたが自己研鑽も兼ねて輸液についての勉強会を開催できればと考えています。

きっかけは受動的であったかもしれませんが、続けてきたのは自分なので今後もがんばります。

インターンシップについて

岩手県立病院では、薬剤科（部）のインターンシップを随時受付けております。薬学生および既卒社会人であれば、どなたでも参加できますので、ぜひお申し込みください。

詳細につきましては、二次元バーコードまたは下記リンクから岩手県医療局ホームページをご覧ください。



[岩手県立病院薬剤科\(部\)インターンシップのご案内](#)

皆様からのご応募を
お待ちしております！



令和6年度 採用試験

● 筆記試験
SPI能力検査
性格検査
作文試験

● 面接試験
個別面接

	春季通常募集	秋季募集	冬季募集
受験案内配架	3月下旬	7月下旬	10月中旬
受付期間	3月下旬～5月8日	7月下旬～8月20日	10月中旬～11月18日
筆記試験	5月19日（日）	9月1日（日）	12月1日（日）
面接試験	6月中旬～下旬	9月下旬	12月中旬
合格発表	7月上旬	10月上旬	12月下旬
試験会場(筆記)	盛岡、東京、仙台、青森	盛岡、東京	盛岡、東京
募集人員	別途公表	別途公表	別途公表

※春季通常募集にて採用予定人員に達した場合、秋季募集以降の試験を実施しないことがあります。

Q & A -採用後について-

Q 配属はどのように決定しますか？

A 採用試験時と内定後に、希望病院3箇所、その他事情の確認があります。本人の家庭状況や特殊事情、各病院の欠員状況を勘案し配属先が決定します。

Q 転勤（人事異動）はありますか？

A 毎年「異動希望調査」があり、職員一人ひとりの意向を確認・把握し、所属長の意見を聴取したうえ、原則4月1日に人事異動が実施されます。各人の人事異動のサイクルは、基本的に3～4年程度（めやす）です。人事異動により「職員のキャリアアップを実現し、長く働き続けることができる職場」であることが、岩手県立病院のメリットです。

Q 休暇取得はしやすいですか？

A 病院ごとの職員数、業務内容による調整はありますが、互いに協力して休暇を取得しやすい環境です。年次のほか夏季休暇を利用して旅行を計画したり、プライベートの時間を充足することで心身のリフレッシュをはかっています。

各病院の概要について



次ページよりご参照ください



岩手県立中央病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 685床

- 県立病院のセンター病院
- 三次救急医療や高度・専門医療等、高度急性期医療
- 救命救急センター機能
- 専門的ながん医療、緩和ケア
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- 地域医療支援病院
- 地域災害医療拠点病院



岩手県立中央病院薬剤部のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立中央病院薬剤部](#)



岩手県立中部病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 434床

- 二次救急医療やがん医療、緩和ケア、周産期医療等の高度・専門医療
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- 地域医療支援病院
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立中部病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立中部病院薬剤科](#)



岩手県立遠野病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 122床

- 地域の入院医療
- 在宅医療
- 中部病院と連携
- 地域包括ケア

岩手県立遠野病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立遠野病院薬剤科](#)



岩手県立東和病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 68床

- 地域の入院医療
- 地域の福祉施策との一体的な運営
- 中部病院と連携
- 地域包括ケア

岩手県立東和病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立東和病院薬剤科](#)



岩手県立胆沢病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 346床

- 二次救急医療やがん医療等の高度・専門医療等
- 臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立胆沢病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立胆沢病院薬剤科](#)



岩手県立江刺病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 60床

- 地域の入院医療
- 総合内科機能や肝臓病、糖尿病の専門医療
- 在宅医療
- 地域包括ケア
- 胆沢病院と連携

岩手県立江刺病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立江刺病院薬剤科](#)



岩手県立磐井病院

病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。



病床数 315床

- 二次救急医療やがん医療、緩和ケア、周産期医療等の高度・専門医療
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- 地域医療支援病院
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立磐井病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立磐井病院薬剤科](#)



岩手県立千厩病院

病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。



病床数 120床

- 地域の入院医療
- 磐井病院と連携
- 地域包括ケア

岩手県立千厩病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立千厩病院薬剤科](#)



岩手県立大東病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 40床

- 高齢者を中心とした入院医療
- 在宅医療
- 磐井病院と連携
- 地域包括ケア

岩手県立大東病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立大東病院薬剤科](#)



岩手県立南光病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 305床

- 県南圏域における精神医療の拠点病院
- 精神科救急医療

岩手県立南光病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。



[岩手県立南光病院薬剤科](#)



岩手県立大船渡病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 402床

- 三次救急医療やがん医療、周産期医療等の高度・専門医療
- 救命救急センター機能
- 精神科病棟
- 地域包括ケア
- 臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立大船渡病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立大船渡病院薬剤科](#)



岩手県立高田病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 60床

- 高齢者を中心とした入院医療
- 在宅医療
- 地域包括ケア
- 大船渡病院と連携

岩手県立高田病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立高田病院薬剤科](#)



岩手県立釜石病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 180床

- 二次救急医療やがん医療、脳卒中、心筋梗塞に対応する急性期医療等の高度・専門医療
- 臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域災害医療拠点病院
- 地域包括ケア



岩手県立釜石病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立釜石病院薬剤科](#)



岩手県立大槌病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 50床

- 高齢者を中心とした入院医療
- 地域包括ケア
- 釜石病院と連携



岩手県立宮古病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 240床

- 二次救急医療やがん医療、周産期医療等の高度・専門医療
- 地域包括ケア
- 臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域医療支援病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立宮古病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立宮古病院薬剤科](#)



岩手県立山田病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 50床

- 高齢者を中心とした入院医療
- 在宅医療
- 宮古病院と連携

岩手県立山田病院薬剤科の紹介ページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立山田病院薬剤科](#)



岩手県立久慈病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 246床

- 三次救急医療やがん医療、脳卒中等の高度・専門医療
- 地域包括ケア
- 救命救急センター機能
- 臨床研修病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 地域災害医療拠点病院

岩手県立久慈病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立久慈病院薬剤科](#)



岩手県立二戸病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 230床

- 二次救急医療やがん医療、周産期医療等の高度・専門医療
- 地域包括ケア
- 地域がん診療連携拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 臨床研修病院
- 地域災害医療拠点病院



岩手県立二戸病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立二戸病院薬剤科](#)



岩手県立一戸病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 198床

- 県北部における精神医療の拠点病院
- 地域の入院医療
- 二戸病院と連携
- 地域包括ケア

岩手県立一戸病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立一戸病院薬剤科](#)



岩手県立軽米病院



病院ホームページは右上の二次元バーコードからご覧になれます。

病床数 98床

- 地域の入院医療
- 地域包括ケア
- 糖尿病の専門医療
- 二戸病院と連携
- 療養病床

岩手県立軽米病院薬剤科のホームページは二次元バーコードまたは下記リンクからご覧になれます。

[岩手県立軽米病院薬剤科](#)

